



六甲山グランドデザイン（案）

2018年10月5日

《《 六甲山グランドデザイン 》》

人と自然が織りなす「山上のオアシス」

瀬戸内海国立公園の一部である六甲山は、古来よりこの地域のシンボルとして存在してきた。ある時は、自然に向き合いながら開発し、四季それぞれに楽しめるレジャーや体験型施設等による非日常空間も山上に誕生させてきた。またある時は、自然を守り、自然そのものを再生することで、そこに訪れる誰もがくつろげる空間を形成してきた。六甲山に住まう人、六甲山で働く人、六甲山を訪れる観光客、それら全てを受け入れ、10年後、20年後、そしてその先も、後世に継承すべき自然景観を守りつつ、時代のニーズにあわせて変わり続ける「山上のオアシス」として、六甲山は進化していく。

六甲山ゾーン

六甲山を象徴する景観と機能が集まる「山上のヴィレッジ」

六甲山の中心として、自然に溶け込む魅力的な山上施設により形成されたまちなみに加え、景観を活かしたアート空間やサテライトオフィス等、知的創造活動と豊かな自然環境が一体となった働く場という新たな価値も創造する、人々が集う賑わいのゾーン。自然との調和を保ちながら、このゾーンにふさわしい施設や交通のあり方などにも配慮し、市街地からの気軽な観光や山上での長期滞在など多様なニーズを満たす「非日常的空間」を創る。

摩耶山ゾーン

絶景と美しく静謐な自然に抱かれた「眺望と祈りの山上」

人がつくった都市の景観と、自然そのものが見せる景色が一体となり形成される摩耶山ならではの眺望の魅力と、山岳信仰にまつわる歴史を感じるゾーン。気軽に行ける裏山としてのポテンシャルを最大限活かし、市民が山に親しむ場であるとともに、国内外の多くの方に摩耶山の魅力、眺望を満喫してもらえる環境を整備し、より自然を体感できる上質な空間を創出していく。また、登山、トレッキングを楽しむための拠点とするとともに、子どもたちが山の自然を体験できる場とする。

布引ゾーン

日本三大神滝に出逢う「ナショナルパークへのエントランス」

新神戸駅から徒歩10分ほどで日本を代表する名瀑を身近に感じられる、自然と癒しの空間をめぐるゾーン。平安期に和歌にも読まれた歴史性と「神滝」と称される神秘性を有しており、市街地の延長線上として三宮や北野エリアとの連携を図ることで、国内外の旅行者を惹きつけるスポットとしてその価値をブランド化する。

再度山ゾーン

大自然に浸る「癒しと学びに満ちた山地」

弘法大師が再び修行に訪れたことに由来する再度山は、近代における港町神戸の文化形成に尽力された外国人の眠る墓地や、後世に残すべき豊かな自然により、訪れる人に癒しと悠久の時を感じさせるゾーン。自然と歴史を体感できるエリアとして、今ある環境を守り伝えていく。



※六甲山グランドデザインの「六甲山」とは、六甲山ゾーン、摩耶山ゾーン、布引ゾーン、再度山ゾーンの4ゾーンからなるエリアとする。

■各ゾーンに共通する方策

方策1 六甲山の資源を継承する

瀬戸内海国立公園の一部である六甲山の自然や景観など、貴重な資源を次世代へ継承できるよう保護・保全、整備を図る。

- 適切な森林整備
- 治山・治水防災事業の推進
- 景観を阻害する樹木の適切な伐採
- ◎ 登山道、道標の整備（多言語サイン整備等）
- 災害に強い道路整備

方策2 六甲山の魅力の向上を図り、情報を発信する

より魅力的に変わり続ける六甲山の情報発信するとともに、多様な来訪者と双方向コミュニケーションを図りながら、六甲山への愛着を醸成する。

- 六甲山各ゾーンごとの魅力の向上
- ◎ 六甲山のブランディング
- ◎ 多様なターゲットへのプロモーション（マスメディアとの連携等）
- ◎ 六甲山における情報の一元化（ホームページ等）
- ◎ 六甲山活性化に向けた相談窓口の設置
- ◎ 時代に合った規制の見直し

六甲山グランドデザイン全体図



六甲山ゾーン



【方策】

- 何度も訪れたいくなる仕組みを作る
- おもてなし空間を創造する
- 多様な楽しみを満喫できる機能を充実する
- 自然の中で働く・新たな価値を創造する

摩耶山ゾーン



【方策】

- 摩耶山の魅力をみがく
- 眺望を満喫する環境を整備する
- 歴史や自然を感じる空間を整備する
- 摩耶山へのアクセスを快適にする

再度山ゾーン



【方策】

- 原生的な自然を将来に引き継ぐ
- 自然と歴史を体感する空間を整備する

布引ゾーン



【方策】

- 布引のブランド価値を醸成する
- 自然に癒される空間を整備する

六甲山を象徴する景観と機能が集まる 「山上のヴェルジ」

■方策1 何度も訪れたくなる仕組みを作る

何度でも来訪してもらう環境を整備する。

- ◎ 市街地からの分かりやすい誘導
(統一デザインによる案内、交通結節点での案内改善等)
- ◎ 急行バスの運行継続による山上へのアクセス改善
- ◎ 山上での交通手段の充実
(バスを補完する楽しい交通手段の検討、レンタサイクルの活用等)



■方策2 おもてなし空間を創造する

来訪者を受け入れる環境を整備する。

- ◎ 既存コンテンツの充実 (六甲ミーツ・アート芸術散歩等)
- 六甲山ビジターセンターでの情報発信
- ◎ 楽しく安全に歩ける空間整備 (歩道の整備)
- ◎ 駅等から登山口までの誘導看板の整備
- ローリング族等騒音対策
- ◎ 景観を害している廃墟を撤去できる仕組みの検討
- 自転車利用環境の改善の検討
- ◎ 六甲ケーブル下駅の改築
- 携帯電話通信環境の改善
- ◎ トイレ整備
- ◎ キャッシュレス化



■方策3 多様な楽しみを満喫できる機能を充実する

市民から訪日旅行者、初めて訪問される方やリピーターの方等、さまざまな人々が自然や芸術等、多様な楽しみを満喫できるよう施設・機能の充実を図る。

- ◎ 新しい機能の導入 (眺望デッキの新設)
- ◎ 既存レストランのサービス面の向上 (料理やサービスの質)
- ◎ 体験プログラムの造成
- 有馬温泉との連携
- スポーツツーリズムの推進
- 外国語対応のガイド育成
- 自然観察・体験学習の継続実施
- 観光事業者間の連絡会・勉強会の継続開催



■方策4 自然の中で働く・新たな価値を創造する

六甲山の「自然の中で働く」という新たな価値を創造し、そこに人が集い、賑わう空間を創出する。

- ◎ 補助制度を活用した遊休施設等の利活用の促進 (宿泊施設、レストラン、カフェ、企業ゲストハウス、貸別荘等の民間誘致等)
- ◎ 遊休施設所有者と参入意向のある事業者とのマッチングの検討
- ◎ インターネット通信環境の改善

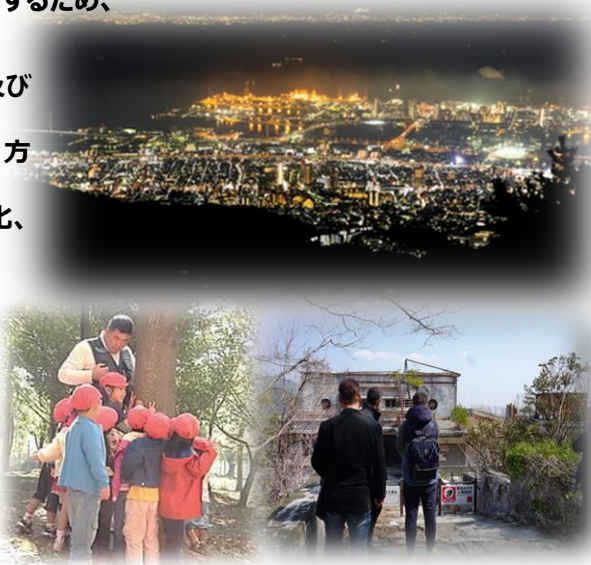


絶景と美しく静謐な自然に抱かれた 「眺望と祈りの山上」

■ 方策1 摩耶山の魅力をみかく

掬星台や虹の駅など拠点における賑わいを創出するため、みんなが楽しめる空間を整備する。

- ◎ 掬星台の利活用検討（ビジターセンター及び魅力ある施設の設置、周辺の再整備等）
- ◎ オテル・ド・摩耶のPFI期間終了後の活用方法検討
- ◎ 虹の駅周辺の利活用検討（第二展望台化、あずまや、トイレの整備）
- 市民活動の活性化とその支援
- 展望や自然、歴史などの資源を体験できるプログラム造成
- 自然観察授業、学習プログラムの継続
- 既存施設や市民活動等との連携
- ◎ キャッシュレス化



■ 方策2 眺望を満喫する環境を整備する

掬星台からの眺望を継続的に確保し、訪れる多くの方に感動を届ける環境を整備する。

- ◎ 展望施設の魅力向上（老朽化対策、インバウンド対応）
- 夜景だけではなく眺望の魅力発信



■ 方策3 歴史や自然を感じる空間を整備する

摩耶山での滞在時間を増やし、歴史や自然に浸れるよう、周辺施設との連携や山上交通の充実を図る。

- ◎ 六甲山牧場の再整備の検討
- 既存施設との連携（摩耶自然観察園、宿坊体験・座禅等）
- ◎ 山上での交通手段の充実（バスを補完する楽しい交通手段の検討、レンタサイクルの活用等）



■ 方策4 摩耶山へのアクセスを快適にする

摩耶山へのアクセスをわかりやすく快適なものにし、来訪者の利便性向上を図る。

- ◎ 掬星台への輸送力強化の検討（摩耶ロープウェイ・施設の大規模改修等）
- ◎ 市街地からの分かりやすい誘導（統一デザインによる案内、交通結節点での案内改善等）
- ◎ 駅等から登山口までの誘導看板の整備
- ◎ 急行バスの運行継続による山上へのアクセス改善



布引ゾーン

日本三大神滝に出逢う
「ナショナルパークへのエントランス」

■ 方策1 布引のブランド価値を醸成する

市街地の延長線としての、
布引ゾーンの新しいブランド価値を醸成する。

- 三宮や北野エリア等との連携
- ナイトタイムエコノミーの推進



■ 方策2 自然に癒される空間を整備する

国内外の観光客が手軽に神滝や自然に癒される空間を整備する。

- 外国人目線での多言語サインの整備（歴史解説を含む）
- 掬星台へのルートに掲載した多言語登山マップの作成



再度山ゾーン

大自然に浸る
「癒しと学びに満ちた山地」

■ 方策1 原生的な自然を将来に引き継ぐ

再度山の良好な森林や池の恩恵を将来にわたり享受できるよう、
保護・保全を図る。

- 森林植物園も含めた神戸市内の大規模公園のあり方検討



■ 方策2 自然と歴史を体感する空間を整備する

神戸の歴史や自然を体験し学べる空間を整備する。

- 国名勝である再度公園や外国人墓地のPR
- 神戸の歴史（外国人墓地に紐づいた神戸の歴史、植生の変遷等）を学ぶ機会の充実
- 自然、歴史などの資源を体験できるプログラム造成



■主要アクションプラン（案）

ゾーン	アクション	実施主体	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
各ゾーン共通	六甲山活性化に向けた相談窓口の設置	県市	[進捗状況]					
	時代にあった規制の見直し	国 県市	風致条例 自然公園法 (公園計画見直し) 都市計画法 (許可基準見直し)	自然公園法 (管理運営計画)				
	六甲山のブランディング	市	[進捗状況]					
	六甲山における情報の一元化(ホームページ等)	六甲摩耶観光推進協議会	対応検討	[進捗状況]				
	多様なターゲットへのプロモーション(マスメディアとの連携等)	神戸観光局	[進捗状況]					
	登山道、道標の整備(多言語サイン整備)	市	[進捗状況]					

ゾーン	アクション	実施主体	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
六甲山・摩耶山 ゾーン共通	駅等から登山口までの誘導看板の整備	国県	[進捗状況]				
	市街地からの分かりやすい誘導(統一デザインによる案内、交通結節点での案内改善等)	市	[進捗状況]				
	山上での交通手段の充実(バスを補完する楽しい交通手段の検討、レンタサイクルの活用等)	市 民間	対応検討 社会実験	[進捗状況]			
	急行バスの運行継続による山上へのアクセス改善	市	社会実験	運行	[進捗状況]		

ゾーン	アクション	実施主体	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
六甲山ゾーン	補助制度を活用した遊休施設等の利活用の促進(宿泊施設、レストラン、カフェ、企業ゲストハウス、貸別荘等の民間誘致等)	県市	[進捗状況]				
	景観を害している廃墟を撤去できる仕組みの検討	県市	対応検討	[進捗状況]			
	キャッシュレス化	民間	[進捗状況]				
	インターネット通信環境の改善	市	対応検討	[進捗状況]			
	遊休施設所有者と参入意向のある事業者とのマッチングの検討	市	対応検討	[進捗状況]			
	トイレ整備	市 民間	六甲最高峰トイレ設計	実施設計	施工完了	[進捗状況]	
	新しい機能の導入(眺望デッキの新設)	民間	[進捗状況]				
	六甲ケーブル下駅の改築	民間	[進捗状況]				

ゾーン	アクション	実施主体	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
六甲山ゾーン	楽しく安全に歩ける空間整備(歩道整備)	市	対応検討	[進捗状況]			
	既存コンテンツの充実(六甲ミーツ・アート芸術散歩等)	民間	[進捗状況]				
	体験プログラムの造成	神戸観光局 民間	[進捗状況]				
	既存レストランのサービス面の向上(料理やサービスの質)	民間	[進捗状況]				

ゾーン	アクション	実施主体	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
摩耶山ゾーン	六甲山牧場の再整備の検討	市	対応検討	[進捗状況]			
	虹の駅周辺の利活用検討(第二展望台化、あずまや、トイレの整備)	国市 民間	対応検討	[進捗状況]			
	キャッシュレス化	みのりの公社 民間	[進捗状況]				
	ホテル・摩耶のPFI期間終了後の活用方法検討	市	対応検討	[進捗状況]			
	翔星台の利活用検討(ビジターセンター及び魅力ある施設の設置、周辺の再整備等)	国市	対応検討	[進捗状況]			
	翔星台への輸送力強化の検討(摩耶ロープウェー・施設の大規模改修等)	市 すまいまちづくり公社	対応検討	[進捗状況]			
	体験プログラムの造成	神戸観光局 民間	[進捗状況]				